

NEWS RELEASE

2つの拠点の GPU サーバーを高速・低遅延ネットワークで接続した 「遠隔 GPU クラスタ」などの実証実験の実施について

四国電力グループの株式会社STNet(社長:小林 功、本社:香川県高松市)は、今後のデータセンター事業の高度化を目指して、離れた場所に設置された GPU サーバーを高速・低遅延な通信ネットワークで接続した「遠隔 GPU クラスタ」などの実証実験を行います。今後、実験環境の構築を進め、2026 年度上期中に開始する予定です。

生成 AI や高度なシミュレーション技術の急速な発展に伴い、大量のデータをより高速に処理する基盤が求められています。そのような流れの中で、新しい技術の開発により、複数の拠点に分散配置した高性能の GPU サーバーを高速・低遅延のネットワークで接続して、これら GPU サーバーを巨大なコンピューティングリソースとして使用する遠隔 GPU クラスタを構成することが可能になってきました。

一方で、GPU サーバー自体の高速化も進んでおり、それにより電力消費と発熱量が増加しています。大量の熱を発生する GPU サーバーを効率的に冷却するために、従来の空冷ではなく液冷方式を採用する GPU サーバーが増えてきており、当社でも 2026 年度下期中を目途に液冷方式への対応を進めております。

そこで、当社では、今回、「遠隔 GPU クラスタの検証」と「液冷方式 GPU サーバーの運用検証」という二つのテーマについて実証実験を行います。

【実証実験の概要】

① 遠隔地に分散した計算資源を統合する「遠隔 GPU クラスタ」の検証

2つのデータセンターに分散配置された GPU サーバーを、高速・低遅延ネットワークで接続し、巨大なコンピューティングリソースとして使用する「遠隔 GPU クラスタ」の実現性を検証します。

また、本検証では、共同実験者(ソフトウェア開発企業など)のシステムなどを用いて、その性能や使い勝手、運用課題などを評価します。

② 液冷方式 GPU サーバーの運用検証

電力消費と発熱量が極めて大きい GPU サーバーを効率的に運用するため、液冷方式の GPU サーバーと周辺設備を導入し、データセンターにおける液冷設備の運用課題を評価します。

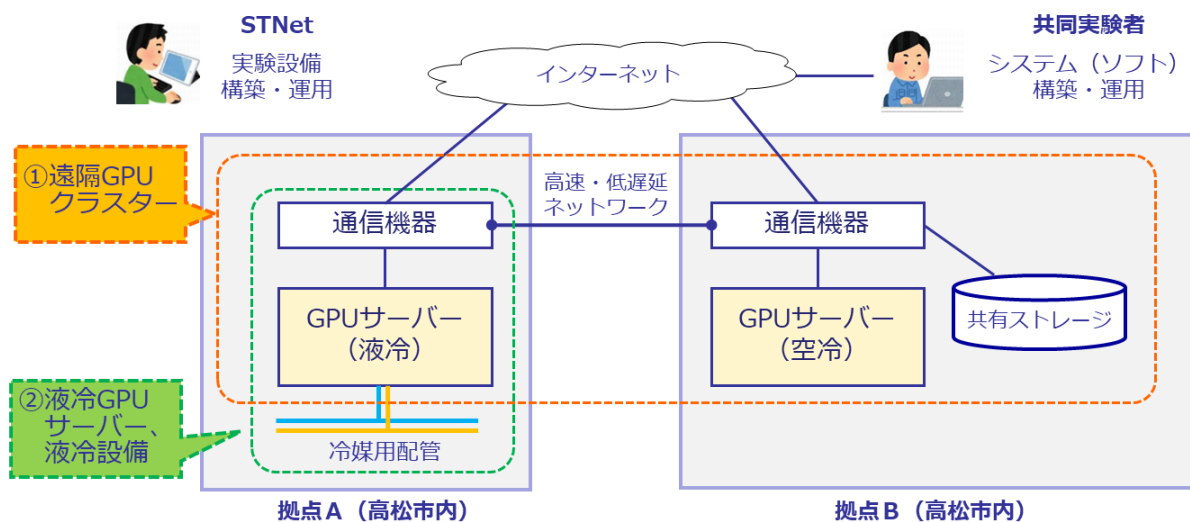


図. 本実証実験における設備構成のイメージ

当社は、本実証実験の結果を通じて得られた「遠隔 GPU クラスタ」や「液冷設備」の構築・運用ノウハウの知見を活かし、各種サービスの検討を進めてまいります。

当社は今後も、新しい技術の導入と検証を積極的に行い、お客さまのニーズに対応したサービスを提供することで、お客さまのビジネスに貢献してまいります。

以 上

本発表に関するお問い合わせ先

株式会社STNet 経営戦略部 広報課	[電話] 070-2627-6222 [Email] kouhou@stnet.co.jp [URL] https://www.stnet.co.jp/
------------------------	---

本実験に関するお問い合わせ先

株式会社STNet 研究開発部(井下・寺井)	[電話] 087-887-2403 [Email] stlab@stnet.co.jp [URL] https://www.stnet.co.jp/
---------------------------	---